

# ヨーロッパ地区補習授業校情報交換会

## 各地の開始時刻

### 中央ヨーロッパ時間

スペイン・仏・独・スイス  
ハンガリー・北欧等

4月13日（月）9:00PM

### 西ヨーロッパ時間

ポルトガル・アイルランド・英国

4月13日（月）8:00PM

### 日本時間

4月14日（火）4:00AM



・マイクのミュートを解除してお話してください。

## <画面の設定>

右上/左上のボタンや画面スワイプで切り替わります。



### スピーカー・ビュー

話している人が大きく見えます。



### ギャラリー・ビュー

多くの参加者の表情が見えます。

## 出席者所属校

アイルランド	ダービーシャー	ヘルシンキ
アルザス	チューリッヒ	ベルリン
イスタンブール	デュッセルドルフ	ベルリン中央学園
オスロ	ニュルンベルク	北東イングランド
カールスルーエ	ハイデルベルク	マドリッド
ケルン	ハンブルク	マルセイユ
コペンハーゲン	ブダペスト	ミラノ
コルマール	ブラッセル	ヨークシャー
シュツットガルト	フランクフルト	ハンバーサイド
		コロンバスOH
		ミネアポリス

## 本日の次第

### 1. 現況報告

- ・ ブダペストみどりの丘
- ・ マルセイユ
- ・ マドリッド
- ・ ケルン
- ・ オスロ
- ・ イスタンブル

### 2. 情報交換

- ・ 学校方針
- ・ ツール・教材
- ・ 指導法
- ・ その他

ご参照ください

AG5補習授業校情報交換会資料（2020年4月5日）

<https://www.ag-5.jp/post/detail/13>

AG5ウェブサイト

<https://www.ag-5.jp>

補習校教員交流Facebook

<https://www.facebook.com/groups/1664125650300837/>

海外子女教育振興財団（JOES）

<https://www.joes.or.jp>

## ブダペストみどりの丘日本語補習校での対応

当補習校は、文部科学省指定の国語の教科書に沿って授業を行い、1年間で1年分の国語の教科書を終了することになっています。授業時間は毎週土曜4時間、年間約35日行います。しかし、現在COVID-19の影響で外出の規制があるため、4月4日よりオンライン(ZOOM)による授業を開始いたしました。

オンライン授業のためのこれまでの流れ：

3月21日 継続教員4名にて残りの授業をオンラインで授業

3月23日4名の新任教員にオンライン授業について説明

3月26日 今学期について運営委員オンラインMTG、保護者にオンライン授業を行う旨、通知

3月27日 新小学1年生オンライン体験授業を実施

(日本人学校の教諭も体験授業を見学)

3月28日 小学生へオンライン体験授業を実施

新小学1年生保護者に向けてのオンライン説明会

オンライン職員会議

4月1日 オンライン保護者会

4月4日 オンライン入学式・始業式、その後授業開始

主な対応：

- ・教科書の配布方法(現在完了)
- 送付
- ショッピングセンターの屋外駐車場にお買い物のついでに30分だけ時間を決めて取りに来てもらう。

4日の授業に教科書が間に合わない場合を想定した授業内容を考え、授業を行う。

全学年1単元の教科書のスキャンを用意し、保護者へメールで送付。

- ・休学について
- 初めてのオンライン授業(計4時間)を受けてから休学するか判断してもらう。
- 休学の場合は期間1学期間とし、2学期からの復学を認める。
- 担任からの宿題は受け取れるが、質問は受け付けない。休学前に担任から休学中の自宅学習のアドバイスをもらう。保護者会の参加は可能。
- ・ 時間割、授業の組み方
- 兄弟のいるご家庭は時間が重ならないように配慮  
授業開始までにご家庭のデバイスの数やネット環境を担任より聞いてもらう
- 4月の授業時間計12限をオンラインで行う
- 低学年は、例えば2限(午前中)、2限(午後又は次の日)に分けて実施
- 1学期休校を想定：5月予定の4日分 16時間、6月予定の3日分 12時間月単位で消化

## マルセイユ日本語補習授業校の現在の状況

2020年度4月以降学校再開まで、小中学校に関しては先生方に年間授業予定の1学期分をまずは作っていただき、その単元に合わせた音読などの学習、新出漢字（弊社では単元とは別で漢字学習は授業回で学習が終わるように週ごとに数が割り振られています）を学習しています。フランス現地校と同じような課題ベースで学習を進めています。

幼稚園3学年に関しては、準備された教材がすでに揃っているので、月初に学年担当講師が各教材のポイントなどをメールで説明し、それを毎週1つずつこなしていきます。幼稚園講師は1学年に2-3人ずつ交代で、保護者が固定ボランティア系の1つとして年間を通してやっています。

小中学生用にオンライン授業の件は3月に弊社でも検討したのですが、結局採用に至りませんでした。主な理由としては、

- このご時世、先生も生徒も、ある特定の時間に集まってやる講義形式は厳しい。
- オンライン授業だとパソコンもしくはタブレット1台がふさがることになるので、そのうちのデバイス所有数にもよるが、1台の場合、兄弟のいる家庭は数時間使えないことになる。（＝親が困るかも）
- 低学年は授業中おそらく親の監視が必要なりそうだが、親がその時間を取れるかどうかはわからない。
- 先生によってはIT環境、スキルに問題があって授業ができるかどうか不安（給料がはっきり提示できないので実際には質問していません）。
- 1学年11人の低学年クラスがあるのですが、子供達がまず集中できないと予測。

などが挙げられます。Zoomはセキュリティ上の問題があるので、そこもネックになっています。でも、ツールを何にするか考える前に、先に挙げたような問題の方が解決を考えるのが難しく、具体的なツール検討はとりあえずストップになっています。

また、幼稚園に関しては、集中力続かなそうなので、今のところオンライン授業検討の対象にはまだ入れていない、という状況です。

しかし、先日共有いただいた4月5日ミーティングの各校の状況資料を拝見させていただくことで、改めてオンライン授業の導入を検討始めています。

このような現状です。

## マドリッド補習授業校休校措置への対応

当補習校は、幼児部（年中、年長）、小学部、中学部（各学年1クラスずつ）、セミナークラス（原則として2年間、2学年合同クラス）の合計13クラスで授業を行っています。

通常小学部では国語2時間、算数1時間、総合1時間の計4時間、中学部・セミナークラスは国語2時間、総合2時間で、計4時間の授業を行っています。

### 年度末の対応

3月28日に卒入学式、4月4日に新学期スタートの予定でしたが、3月11日よりマドリッド州全ての学校施設が休校措置となったことで3月14日より休校となりました。

そして翌日3月15日にはスペイン全土に緊急事態宣言が出され、事実上の外出禁止となりました。

この時点ではいつまでこのような措置となるか全く不明であり、とりあえずイースター休暇（春休み）までは旧学年のまま宿題等を出し続けることにいたしました。

（新学年の教科書配布ができないため）

### 休校中の対応

3月14日 通常の宿題プラス、授業の代わりになる課題をメール送付

3月21日 前週と同様、宿題+授業の代わりになる課題をメール送付

試験的にZoom使用によるオンラインクラスを小学5年生、6年生、セミナークラスで実施)

3月28日 全学年にて40分のオンラインクラス実施（卒入学式の行事を授業日に変更）

4月4日 全学年（旧学年）にて40分のオンラインクラス

+新クラス担任によるオリエンテーション

4月11日 春休み

4月18日～新学年でのオンライン授業本格開始（1コマ45分）

（幼児部：2コマ、小学部：国語2コマ・算数1コマ、中学部・セミナークラス  
：国語2コマ・総合1コマ）

各ご家庭の端末数を考慮し、兄弟がいても3つの授業が重ならないように考慮いたしました。時間差で授業を行い、どのご家庭でも端末を同時につなげて授業を行うのは2つまでとなるよう調整しております。

結果、一日3コマが最大で、通常より1コマ少ない授業時間となりました。

## ケルン日本語補習授業校での対応

本校では、ケルン市を含む周辺地区で行われたカーニバル終了後から、新型コロナウイルス感染期間となる2週間(3月5日と12日)を休校と致しましたが、その後のドイツ国接触制限措置を受け、新年度 開始の4月23日までを学校閉鎖としました。現状において、学校再開の見通しはたっており、昨年度 最終日に各クラス Zoom による交流会を実施し、新年度からのオンライン授業に備えることにしました。以下、昨年度休校期間の対応や新年度の指導予定について、ご説明致します。

月 日	学校側の対応
<b>3月5日</b> <b>3月12日</b> <b>3月19日</b> <b>(休校)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムにできるだけ遅れが出ないように、授業補填プリントと通常配付の宿題を各家庭に担任から郵送もしくはデータ配信。</li> <li>・担任のできる範囲で、幼児・児童・生徒の学習意欲が低下しないよう働きかける。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">働きかけの具体例</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グーグルフォトを使い、提出物や暗唱動画のやりとりをする。</li> <li>・Line や WhatsApp、Skype などを用いて音読音声データのやりとりをする。</li> <li>・作文課題など一部の課題をデータでやりとりをする。</li> <li>・すべての課題を郵送にてやりとりする。</li> </ul>
<b>3月20日</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Zoom を用いたオンライン授業導入に対する保護者アンケート実施。</li> </ul> <p>➡多くの保護者から賛成の声があがる。</p>
<b>3月24日</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師間で Zoom の基本操作を確認。事前にケルン日本文化会館主催の Zoom 講習会に参加した講師が情報を共有。</li> </ul> <p>(メインルーム・共有画面時のビューの変更、挙手アイコン表示、チャットを使ったファイルやリンク送信、共有画面時の書き込みの方法、共有画面書き込み後の保存法、ブレイクアウトセッション設定、セッション時のヘルプの求め方やホストメッセージの送信方法、セッション時の部屋間の移動法、共同ホスト設定)</p>
<b>3月26日</b> <b>(休校)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラス15分程度の Zoom 交流会を導入(講師、家庭ともに可能な範囲にて)。可能なクラスは、交流会だけではなく、適宜オンライン授業を進める。</li> </ul> <p>➡オンライン授業は、様々な課題はあるが、子ども達の学習意欲を持続させるために、一定の効果はある。</p> <p>➡新年度からの本格導入を検討。</p>
<b>4月1日</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Zoom による講師会</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">決議事項</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月23日始業 それまでに教科書と副教材を各家庭に郵送。</li> <li>・4月22日に各家庭へ新年度クラス編成をメールで連絡。</li> <li>・土日を除く4月24日から30日の間に全クラスにおいて、担任と保護者による Zoom 保護者会を調整。</li> <li>・保護者会では、通常の内容に加え、各家庭のデバイスや使用状況(兄弟間の使用時間調整の為)を確認する。必要に応じて、Zoom の基本操作方法を説明。通常授業日時間</li> </ul>

	<p>にこだわらず、各クラス担任と保護者間で授業時間を決定し、全クラスのオンライン授業時間帯を調整。授業時間は15分～90分の間で、適宜担任が調整する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚部年少組は入学時期を無期延期。接触制限措置が解かれ、現地校が再開した後、本校の状況を鑑みて学校再開日を設定。学校再開日に昨年度卒業終業式、および今年度入学始業式を行う。</li> <li>・4月23日始業日は原則として15分程度のオンライン交流会を実施し、新担任との顔合わせをする。授業が実施できるクラスは、適宜実施可。</li> <li>・4月23日以降は、全クラスオンライン授業と授業補填プリント、そして宿題配信を併用し、カリキュラムを進める。</li> </ul>
<b>4月2日</b>	・Zoomによる勉強会（休校期間の指導の工夫について）*後述参照

### 【Zoom 使用の感想や課題】

・児童生徒によって、デバイスが異なり、デバイスによってアイコン表示や表示方法が異なる。例えば、タブレット等は、アイコンやバーが隠れている場合が多く、タッチすると表示される。メーカー機種や型によっては、共有画面での日本語入力ができない場合もある。共有画面におけるテキスト入力は、横書きのみ対応。また、LinuxのPCは、共同ホストになってもブレイクアウトセッション時に自ら別室への移動ができないため、ホストの操作が必要。 ➡授業前に保護者会で確認要。また、学年によっては、授業時の保護者の支援の有無確認や協力をお願いする必要もある。

・メインルームでの講師の説明時や、子ども達に活動させる時に周りの声が入ったり、講師の声が聞こえにくかったりする。 ➡メインルームではミュート機能を使い、質問や発言時には挙手するといったルールを徹底させる。ただし、ミュート機能を使うと、子ども達の反応が分かりづらく授業を進めにくいという難点もあり。

・画面共有などのPC操作をしながら説明し、さらに子ども達の様子をビューで確認することが困難。 ➡講師2名が入室し、授業を行ってはどうか。1名が授業を進行している時、もう1名が次のPC操作の準備をしたり、全員の様子をビューで確認したりしながら、進める。(そのためには、共同ホスト権があると便利。共同ホスト権を設定するには、Zoomプロにアップグレードする必要あり。現在Zoomは全ての教育機関に対し無料でプロにアップグレードできるサービスを提供中。ただし、ID一つにつき7ユーロ程度の使用料を納める必要あり。)

・共有画面でホワイトボードを使用した際に落書きをする児童生徒がいたり、同時に同じ場所に書いたりする場合がある。テキストボックスでは、縦書きができない。 ➡書く場所を指定した文書を使用したり、順番に書いたりといったルールが必要。 ➡タッチペンは有効。

・10名以上のクラスや低学年では、Zoomによる授業は困難。 ➡少人数に分け、時間帯をずらして授業を進める。 ➡ブレイクアウトルーム機能を使い、グループ学習を積極的に導入する。

・漢字テストや漢字の指導は？ ➡共有画面で出題し、ノートや紙に答えを書いたものを写メなどで送ってもらう。 ➡光村教育学図書の「あかねこフラッシュカード」や「筆順アニメーション」を利用。 ➡PPTで漢字フラッシュカードを作成。

【共有ツールを用いた課題プリントや添削方法について】

グーグルフォトを使ったプリント添削や音読や暗唱動画共有 \*添削例をPDFで添付

**グーグルドキュメントを使った作文添削**

\*添削方法リンク(作成者用)

<http://mongolia.seesaa.net/article/473350406.html>

グーグルフォームを使った課題作成例

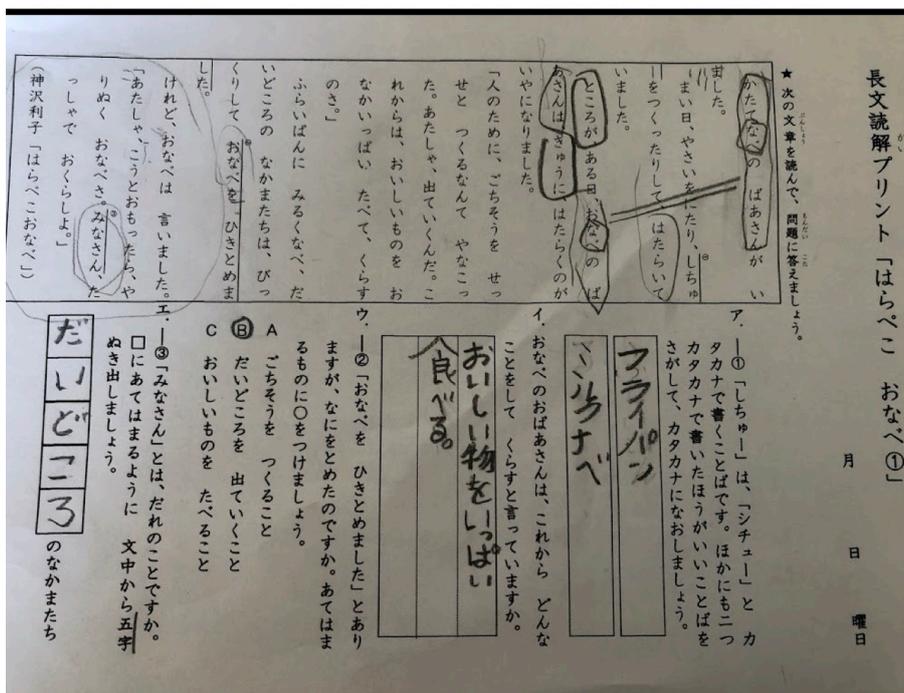
\*課題例リンク(回答用)

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd956acJ0ALT5Swd7xa19oPWVTnaVdMxlkhrecwS9PSZBOHMQ/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd956acJ0ALT5Swd7xa19oPWVTnaVdMxlkhrecwS9PSZBOHMQ/viewform?usp=sf_link)

Quizlet を使ったフラッシュカードやクイズ \*参考例リンク(回答用)パスワード:123456

<https://quizlet.com/5yovjs?x=1jqt&i=1asyk>

グーグルフォトを使った宿題添削例



× アクティビティ

2日前  
 イの答え方に注意！「どんなことをしてくらす」と問われているので、「～してくらす」と答えます。

2日前  
 エ、さい後の文は、おなべが話しているんだね。だれに話しているのだろう？「みなさん」ということは、たくさんいるんですね。「だいたいどこのなかまたち」で正しい！

2日前  
 おいしいものをいっぱい食べてくらす

昨日  
 日本の国語のテストでは、答え方も決まっています。それも、問題文にヒントが書いてあるので、しっかり読んで問題文の通りに答えるといいですよ！

昨日  
 毎日よくがんばっていますね。次のプリントも待っています！

コメントを入力

## 動画の活用

\*参考例(算数・数学)

<https://www.youtube.com/user/toaruotokohaichi>

JPEG, PNG, GIF, PDF データを無料で編集可能なデータに起こす方法

<http://google.tku.ac.jp/docs/3/7>

\*グーグルドキュメントにデータを起こすので、横書きの文字のみに対応可。\*写真や表をそのままの形でデータに起こす場合は、リンク内説明4.の時グーグルドキュメントでファイルを開くのではなく「DocHub」というアプリをダウンロードして、「DocHub」でファイルを開く。

### 【クラウドでのデータ共有について】

今後の補習校におけるクラウドを使用したデータ共有についての課題

- ・個人情報保護や安全性の問題から、どの程度活用してもよいのか。

グーグルクラスルームを含む G Suit for Education の活用について

- ・本校の規模で管理者を作り、導入できるのか。講師がスキルを持ち、どの程度使いこなせるのか。また、そのメリットやデメリットについて知りたい。

## オスロ日本人補習校の取り組み

### これまでの流れ

3月13日～ 臨時休校

- 課題や取り組む際の注意点等を、保護者にメールで送付

3月28日 教科書の配布

- 各学年ごとに時間を決め、保護者が受け取り
- 新版の指導書は4月末到着予定のため、講師は旧版の指導書やスキャンした教科書を使用して授業を計画
- 副教材(児童生徒用・講師用)も未到着のため、講師所有の旧版をスキャンするなどして対応

4月4日 新年度初回挨拶（休校中）

- 各講師による対応
- 数名が遠隔ツール（Cisco WebexやMicrosoft Teams）を用いて初回挨拶
- 1学期の授業計画、課題、家庭学習の注意点等を、保護者にメールで送付

### 今後の予定

4月18日 遠隔授業開始

- 各学年・教科とも、遠隔授業開始予定
- 新版の指導書が4月末到着予定のため、講師は旧版の指導書やスキャンした教科書を使用して授業を計画
- 副教材(児童生徒用・講師用)も未到着のため、講師所有の旧版をスキャンするなどして対応
- 授業後、保護者と運営委員会に、授業内容や宿題などを記載した授業報告書を提出

5月以降

- 校舎使用の目処は立っていない（オスロ日本人補習校はこれまで、毎週土曜日に市内の小学校を借用）

## イスタンブール補習授業校オンライン授業に関する取り組み

本校は、準備クラス(幼稚部)、小学部、中学部に分かれており、文部科学省 指定の教科書を使用し、毎週土曜日、年間 40 日の授業(遠足などの行事を含む)を実施している。準備クラスは基本的学習態度や数字、文字などの学習を含めた 3 時間、小学部中学部は算数国語を各90分という授業時間構成である。

日本語の習得度の違いによって、3年生からは上下の教科書に分かれている教科書を2年間で学習するクラスもある。

現在は、トルコ国内で COVID-19 を起因とする外出制限があることから、4 月 11 日の新年度初日から外出制限解除まで、オンラインで国語のみ 60 分から 90 分の授業を行う予定である。

今回のオンライン授業は、8名の講師(校長は各クラスを補佐)で 13 クラス 編成となる。

### <オンライン授業対応まで>

1. 3 月 12 日にトルコ政府が全土の教育機関の閉校(3 月 16 日～4 月 13 日)を発表したことを受けて、本校は 3 月 28 日が修了式・卒業式であったが、3 月 14 日の授業を最後に 4 月 11 日まで閉校と運営委員会で決定。  
休校分と春休みの宿題は、各担任が課題を作成し、メールや郵送で各家庭に配布。
2. トルコ政府が 3 月 25 日に追加措置として、4 月 30 日までの閉校措置を通達したため、翌日本校も運営委員会で同様の措置を決定。4 月 30 日まで閉校決定。3.保護者にオンライン授業を希望するか調査、同時に講師会も対応できるか調査。→保護者は希望多数、講師も完全な授業は望めないが対応することを決定。双方の相互理解の構築し、まずは国語のみのオンライン授業を開始することに決定。授業時間は基本的に 60 分。高学年は 60 分を超える場合は 90 分まで。4 月 11 日の新年度開始日よりオンライン授業開始決定。4.校長(授業方法)と運営委員会(授業料等)から各保護者に文書連絡。具体的な授業接続方法等は担任からの連絡とした。

### <教科書配布>

トルコ政府から外出自粛や外出制限(初期は 65 歳以上、現在は 65 歳以上と 20 歳以下)が通達されていることから、対応可能な講師が領事館にて全児童生徒の教科書の引き取り、仕分け、配送を実施。保護者への配布方法は選択制

- A) 補習校での受け取り(感染防止のため、屋外で。講師はマスク着用、1回毎の使い捨て手袋交換を実施。)
- B) 配送(できれば、国語と算数のみ配送。他の教科書は開校時に配布。希望があれば全教科配送)
- C) 配送業者からの感染を危惧する家庭を想定、A も B も選択しないケースも認めることとした。結果的には、全児童生徒への全教科の教科書或いは本校が授業を実施している国語と算数の教科書の配布完了。

## &lt;オンライン授業の準備から初回実施まで&gt;

1. 講師が登校して校舎での研修会を行う状況ではないことから、使用方法が比較的習得しやすい ZOOM 使用のオンライン授業を行うため、事前に接続方法 や基本操作の研修を同じく ZOOM を使用して実施。接続等に不安がある講師は、校長がサポート。
2. 事前に家庭のデバイスの数や WIFI 環境を各担任が丁寧に調査。クラス編成 も兄弟姉妹、講師の子弟が重ならない時間割の組み替えを実施。
3. 短期間で講師全員が意欲的に ZOOM 使用方法を習得。細かい機能については 研修の必要があるが、初回の授業日以前にトライアル授業などを実施したことから、初回授業では講師側の原因による授業開始の遅滞や接続障害は起こらなかった。
4. ZOOM のセキュリティの脆弱性も指摘されているので、パスワードや待機室などの使用をするなどを徹底している。政府によって ZOOM 使用が禁止された 場合のセカンドプランも構築する予定。ZOOM 無料版は 40 分で一旦切れるが、事前に 2-3回分のリンクを保護者に送 っておくなど、各クラスで担任が工夫している。
5. 初回授業後は、すぐに講師会を開催、良い点改善点の共有をした。
6. 講師会のグループウェアで、ZOOM の詳しい使用方法などを気がついた講師が共有できるコーナーを設置した。
7. 初回授業後、運営委員会も保護者からのフィードバックを収集。ホワイトボードの積極的使用の要望が出された。
8. 初回の児童生徒からの反応は、好評であった。

## &lt;今後の課題&gt;

1. 現地校ではすでに約 1 ヶ月のオンライン授業が実施されていることから、現地校の教師のオンラインによる授業スキルが上がっている。よって、どうしても比較される意見が保護者から出てくる可能性がある。1回毎に保護者の 要望のハードルが高くなる。
2. すでに算数数学の授業開始の要望が少数の保護者からある。土曜日のみで国 語と算数を実施する時間がない。
3. プリンターがない家庭もあるので、どの程度の宿題枚数が適当か。

以上

2020年度校長 吉田 和美

## オンライン授業のツール追加紹介

ニュルンベルク補習校

### ① オンライン授業のツール追加紹介

3月、急な休校でどうしても必修範囲が終わらせられておらずWherebyというWeb会議用のシステムを使用しオンライン授業をしました。先日の議事録にWherebyの情報がなかったのが皆様に共有致します。

#### 【Wherebyを選んだ理由】

- ・ 授業を受ける児童・生徒は登録が必要なく、指定されたURLをクリックするだけで良い
- ・ 無料版でも時間の制限がない
- ・ 授業の度に新しいURLを発行する必要がない
- ・ パソコンでもタブレットでもスマホでも受講できる
- ・ 画面共有機能がついている (画面共有をしながら板書をする必要があった)
- ・ 有料版のコストが安い (1ヶ月9.99ドル) ※ただしビジネス版は1ヶ月59.99ドル
- ・ Zoomに申請したが、本校は学校用の有料メールアドレスを所持していないためか使用許可の返事が頂けなかった
- ・ Googleアカウントを持っていない保護者がいたのでハングアウトなどは却下せざるを得なかった

#### 【使用の感想】

- ・ ネイティブ世代の子どもたち、やはり非常にスムーズな授業だった
- ・ 通信が止まってしまうことは一度もなかった
- ・ 板書は黒板に書くよりもパソコンで書き出す方が早いので、板書時間短縮になった
- ・ 板書内容を保護者の方にまとめとしてお送りできるので、学習の進捗状況の共有が楽だった

#### 【使用のコツ】

- ・ スマホでも受講できるが、板書が見えづらいのでパソコンかタブレットを推奨する
- ・ 授業の最初にハウリング現象が起こった際の対策方法を練習する

#### 【デメリット】

- ・ 一度に入室できる人数は無料版4人まで、有料版でも12人まで (ビジネス版は参加人数は無制限です)
- ・ 一つの有料アカウントで同時に利用できるルームは3つまで (ビジネス版はルーム数も無制限です)